

# 平成29年度 山口県公立学校教頭会 秋季研修大会進行記録（岩国・和木大会）

h.29.11.14（火）

## 開会行事

開会にあたり会長【神田芳伸かんだよしのぶ】がご挨拶申し上げます。

- 1 開式のことば
- 2 国歌斉唱
- 3 会長あいさつ

みなさんおはようございます。広島県との県境、和木町へ2時間、3時間かけてお越しいただいた方もいらっしゃることでしょう。ようこそおこしいたきました。それでは、一言ご挨拶を申し上げます。平成29年度山口県公立学校教頭会秋季研修大会が、和木町において開催されますことを、心から感謝申し上げます。大会開催にあたりまして、公務ご多忙な中、山口県教育委員会教育審議監 松田 靖様、和木町長 米本 正明 様をはじめとして、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、心からお礼申し上げます。また、山口県教育委員会及び関係諸機関、諸団体からのご支援、御指導を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

まず最初に、不祥事の根絶に向けて何度も何度も研修会や普段からの呼びかけを行っているにもかかわらず、今年度3件目の事案が発生したことは、非常に残念なことであります。私たち教頭は、このことを深く重く受け止め、学校・教職員の信頼回復のため、今まで以上に、不祥事の根絶に向けて、全力で取り組んでいこう、よろしく願いいたします。

さて、今年度の活動状況を報告します。夏休みに組織マネジメントセミナーの開催、9月には広報誌の発行、法制部・調査部・学校運営必携の取組など、各担当者の御尽力のお陰で、順調に実施されておりますことを報告いたします。誠にありがとうございます。本日は、県教頭会の活動の中で大きなウエイトを占めている研修について、二つ紹介させていただきます。一つ目は、第11期全国統一研究主題の考えや方向性をふまえ、春季大会において、山口県テーマ「未来をたくましく生き抜く子どもの育成～自立と共生をめざして～」を掲げ、テーマを6つの課題に分け、各学校で授業や体験活動を通して実践してきました。提言発表をされる支部におかれましては、研修成果のまとめを作成するに当たり、協議をくり返してきました。午後からの研究協議では、山口県教育委員会からご指導をいただくことで、これまでの学びがより一層深化・拡充され、今後も充実した研修となることを期待しています。二つ目は、次期学習指導要領が公示され、小学校は2020年度、中学校は翌年からの完全実施となります。来年度から移行期を迎え、「次世代の学校の在り方」について、各校で検討されていると思います。新規に取り扱う内容では、外国語活動、外国語科、そして、道徳の教科化や理数教科の充実などたくさんの課題がある中、未来をたくましく生き抜く子どもたちのためにも、教頭として、今からしっかりと準備をしておく必要があります。

最後になりましたが、和木・岩国支部教頭会をはじめ、この研修大会を支えてくださった皆様方へ深く感謝申し上げます。山口県公立学校教頭会の更なる発展を祈念するとともに、先生方の益々のご健勝とご多幸をお祈りしまして、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。」

4 山口県教育委員会 「みなさん、おはようございます。松田でございます。山口県公立学校教頭会秋季研修大会、おめでとうございます。

教育長あいさつ 日頃から教頭先生方が校長先生を補佐し、御尽力いただいていることにお礼を申し上げます。

これまで各学校の取組状況を把握してまいりました。これからは、いっそう社会に拓かれた学校をもとめていくことが重要です。

より良い社会を作り、それぞれの学校に必要な課題達成のために、教育課程において取り組んでいくことが求められています。明確に社会に求められた課題を教育課程を元に学校を変えていくという発想、カリキュラムマネジメントの発想が大切です。教育課程は時間割という捉え方が多いですが、それだけでなく教職員が連携し地域と家庭を繋いでいくような教育課程を考えていくことを、次の3点から考えてほしいと思います。

1 学校運営の視点から

地域と一緒に取り組む事により、よりよい学校運営を行っていくことです。

2. 学校支援の視点から

学校目標を共有し、地域の方々に学校教育の一端を担っていただく、支援していただくことで、子どもたちにより豊かで確かな力をつけていくということです。

3. 地域貢献の視点から

ボランティア活動に参加し、地域の皆さんの力になっていく子どもたちを育てていきたい。そして、地域を元気にしていきたいということです。

学校、家庭、地域がパートナーとなり、やまぐち型地域連携教育を教頭が中心になり、推進していただきたいということです。

二つ目は学力向上です。

今年度の学力学習状況調査では、概ね全国平均を上回る結果でした。これは、これまでの先生方のきめ細やかな指導、地道な指導の一定の成果だと思います。ただ、算数Bが平均を下回るということについては、思考力・判断力・表現力を育てるために、個を見つめ個を大切にした指導について今一度見直し、学校の課題に合うものになっているか 改めて見直し、教頭の立場として 学校全体の取組とるように繋げていただきたいと思います。

以上、二つの点から、家庭・地域・学校が一体となって、山口県の教育が素晴らしいものになるように、お願いしたいと思います。

また、学校における働き方改革にも努力していきたいと考えています。教職員は、日常的に様々な業務で多忙な毎日を過ごしています。それを見直し、個々の能力と個性を発揮できるような働き方に変えていきたいところです。教員の質の向上、ひいては子どもたちにより良い教育を推進できるような働き方改革に取り組んでいきたいので、これまでの当たり前を見直し、教職員が生き生きと取り組んでいけるよう、教頭先生方の力を発揮していただきたいと思います。

そういう意味を含めまして、今日の大会が実り多い研究大会となるようよろしく願います。

本日は誠におめでとうございます。」

## 5 来賓祝辞

和木町長【米本正明よねもとまさあき】様をお願いいたします。

「みなさんおはようございます。ようこそ和木町にお越しいただきました。ありがとうございます。

町長としまして、ひとことお祝いのご挨拶を申し上げます。

紅葉の美しい季節となりました。本日ここに山口県教頭会秋季研修大会が盛大に開催されますことをこころよりお喜び申し上げます。

県内で最も小さな町、和木町でございますが、第2次長州征伐から150年、この和木町で戦いがありましたが、小瀬側川を挟んで戦いをし、高杉晋作などのような有名人はいないが、大きく攻め込まれることなく長州の地に一步も踏み込ませず、むしろおいやったという見事な戦いをしております。先般、彦根といっしょに会を開きましたが、和解の仲介をしたのは和木町でありました。

高度情報化社会であり、日本は世界に類を見ないほど進んでいる少子高齢化社会など、たくさんの課題を抱えて、先を見通すことが難しい今、学校の要としての教頭先生の役割は大変重要であると思います。

長州の先人達のように高い志を持って、学校運営に取り組んでいただきたい。我が地域を創造していくためには教育が大切です

「未来をたくましく生き抜く子どもの育成～自立と共生をめざして～」をテーマに掲げ、様々な課題の中で先見性のある取組をされることは大変重要なことと考えます。

教育を活性化していくことに、鋭敏に観察し、志を持って取り組んでいただきますよう、教頭会のさらなる発展を祈念して お祝いの挨拶とさせていただきます。」

## 6 来賓紹介

## 7 閉式のことば

